



成丘だより

成増（なります）学びのエリア
（赤二中・成増小・成増ヶ丘小）



成丘小 HP
二次元バーコード

板橋区立成増ヶ丘小学校
学校だより 5月号
令和7年 4月30日
校長 高野 剛一

学力調査から見えてくる「自己決定」の必要性

校長 高野 剛一

4月17日（木）、全国学力学習状況調査を実施しました。文部科学省によると、この調査の目的は、「学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。」とされています。また、問題を読み解くことで、これから社会を生き抜く子供たちにどんな力を身に付けてほしいか、そして、どんな力が求められているのかが見えてきます。

1

あいりさんたちは、2026年度からブロッコリーが指定野菜に追加されることをニュースで知り、指定野菜について調べることにしました。

ブロッコリーが指定野菜に追加！

指定野菜の追加は52年ぶりです。

現在の指定野菜

※ 指定野菜とは、消費量が多い野菜や多く見られる野菜です。野菜の値段を安定させて、みんながいつでも野菜を食べられるように指定しています。

(2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、右のグラフ2とグラフ3を見つめました。

あいり

グラフ2とグラフ3を見つけたけれど、どちらか一つのグラフを見れば、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。

2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを、下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだだけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかわかるようにしましょう。

ア 2023年は2013年より増えた。

イ 2023年は2013年より減った。

グラフ2

都道府県別のブロッコリーの出荷量の割合

年	A	B	C	その他
2013年	17%	11%	11%	61%
2023年	16%	9%	8%	67%

※ A、B、Cは都道府県名です。

(資料統計調査による。)

グラフ3

都道府県別のブロッコリーの出荷量

年	A	B	C	その他
2013年	2	1	1	10
2023年	2	1	1	10

※ A、B、Cは都道府県名です。

(資料統計調査による。)

〈令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について〉 国立教育政策研究所
小学校調査問題「算数」より抜粋
https://www.nier.go.jp/25chousa/pdf/25mondai_shou_sansuu.pdf

上の問題は、「データの活用」に関する算数の問題です。ブロッコリーが指定野菜になるという日常的話題に対して、あいりさんが興味関心をもち、調べた結果、2つのグラフを見付けるところから始まっています。そして、正しい考察を答えるとともに、その理由についてどちらのグラフに着目したのかが分かるように言葉や数を使って書きましょう、という問題になっています。因みに示されているグラフのうち、棒グラフは3年生、帯グラフは5年生で学習するものです。

この問題の内容から、子供たちに身に付けてほしい力が、以下のような力だと考えました。

- ・既習事項(既に身に付けた学力)を日常生活の様々な場面で活かす力
- ・目的に応じて必要な情報を取捨選択する力
- ・既習事項を活かし、情報を取捨選択しながら自己決定する力

これらの力を身に付けられるようにするため、1年生から6年生全ての学年、学級において、基礎的・基本的な学習事項が定着するように繰り返し指導するとともに、身に付けた力を様々な場面で自己決定しながら活用できるような教育活動を進めていきます。ご家庭においても、「学校で習ったことを使えばできるんじゃない？ 自分でやってみたら？」などの声をお子様にかけてみてください。